

森と学びを軸としたフィンランド連携 フィンランド視察訪問（5/17～24）への参加者を 募集します

伊那市では、森と学びを軸としたフィンランド連携を進めています。長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業の推進を今後一層加速するため、伊那市及び民間による調査団を構成し、視察訪問を実施します。これまで以上に様々な分野で連携の可能性を模索し、フィンランドから得た学びを伊那市らしく取り入れることにつなげるため、民間の視察希望者を募集します。周知等、ご協力をお願いします。

募集概要は次のとおりです。詳しくは、募集要領をご覧ください。

1 視察期間 令和7年5月17日（土）～5月24日（土） 5泊8日

2 視察の目的

- ・長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業の推進
- ・フィンランドで行われている、社会や地域、暮らしとつながる実用的な学び、成長の基盤となる、森から得られる学びや人材の育まれ方への理解を深める
- ・すでに伊那市とつながりのあるフィンランド関係機関への訪問及び意見交換
- ・今後伊那市で行う、フィンランドとの具体的な連携テーマの創出に向けたきっかけづくり など

3 視察の概要（行程等の詳細は別紙参照）

伊那市と覚書締結をしている北カレリア地域の都市 ヨエンスーと、首都ヘルシンキの2都市に滞在予定。

「教育班」と「ビジネス班」の2班に分かれて実施。ビジネス班は、学びの視点に加え、伊那市と連携の可能性がある分野を中心に、企業や大学等の関係機関を訪問。参加者の専門分野も考慮し、候補となる訪問先を選定していく。教育班は、日常の学びの様子を数日にわたり定期的に観察し、自然の中での活動や児童生徒と教師の人間関係等を丁寧に見とる。また、放課後の子どもの居場所や教員養成の現場も視察先の候補に入れる。

4 個人負担となる参加旅費の見込み 一人 50～60 万円程度

※往復の航空券、宿泊代、保険料、フィンランド国内の公共交通等における移動費用を含みます。

※現地での食事代等は、別途自己負担となります。

5 募集人数 若干名

6 応募資格 別紙のとおり

7 応募方法

(1) 応募期限 令和7年3月18日（火）まで（必着）

(2) 提出書類 ①応募用紙 ②パスポートの写し（所持している場合）

(3) 提出先 伊那市役所企画部地域創造課に持参または郵送

応募用紙により書類選考を行い、3月24日（月）までを目途に、結果を連絡いたします。

8 添付資料 有

本件に関するお問い合わせ先

フィンランド視察参加者募集要領

伊那市では、森と学びを軸としたフィンランド連携をすすめています。長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業の推進を今後一層加速するため、伊那市及び民間による調査団を構成し、フィンランド北カレリア地域等への視察訪問を実施します。これまで以上に様々な分野で連携の可能性を模索し、フィンランドから得た学びを伊那市らしく取り入れることにつなげるため、民間の視察希望者を募集します。

視察の概要、応募条件、応募方法等は次のとおりです。

1 視察期間 令和7年5月17日（土）～5月24日（土） 5泊8日

2 目的

- ・長野県と伊那市、フィンランド北カレリア地域との覚書を活かした連携事業を一層推進する。
- ・フィンランドで行われている、社会や地域、暮らしとつながる実用的な学び、成長の基盤となる、森から得られる学びや人材の育まれ方に重点をおいた視察とする。
- ・すでに伊那市とつながりのあるフィンランド関係機関への訪問及び意見交換を行う。
- ・今後伊那市で行う、フィンランドとの具体的な連携テーマの創出に向けたきっかけをつくる。

3 視察の概要

伊那市と覚書締結をしている北カレリア地域の都市 ヨエンスーと、首都ヘルシンキの2都市に滞在予定。上記目的に主眼をおき、「教育班」と「ビジネス班」の2班に分かれて実施する。ビジネス班は、学びの視点に加え、伊那市と連携の可能性がある分野を中心に、企業や大学等の関係機関を訪れる。参加者の専門分野も考慮し、候補となる訪問先を選定していく。

教育班は、日常の学びの様子を数日にわたり定点的に観察し、自然の中での活動や児童生徒と教師の人間関係等を丁寧に見とる。また、放課後の子どもの居場所や教員養成の現場も視察先の候補に入れていく。

※下記行程は視察イメージです。訪問先等は、現在調整中のため変更となる場合があります。

日にち	ビジネス班（案）	教育班（案）
5/17(土)	伊那市発 ヘルシンキへ	
5/18(日)	ヘルシンキ着 ヨエンスーへ移動 ヨエンスー周辺で市民の暮らし・木材活用及びビジネス等に関する視察	
5/19(月)	小中学校訪問など（森での学びの様子の見学、今後の交流継続に向けた意見交換など） 大学訪問など（教員養成課程の視察、学生や先生との懇談など） 伊那市と交流のある学校との交流プログラムについて意見交換など	
5/20(火)	ビジネスヨエンスーなどを訪問 （ビジネス創出に関する視察、意見交換など） 北カレリア地域 ヒルヴォネン知事訪問など	小学校訪問 放課後の居場所 アフタースクール見学など
5/21(水)	ヘルシンキ周辺へ移動 建築における木材活用、新技術など視察	小学校訪問など
5/22(木)	ヘルシンキ大学訪問 （連携創出、教員養成課程の視察など） VTT 国立技術研究センターなど訪問 （連携創出、再生可能素材製品など）	幼稚園、小学校訪問など ヘルシンキへ移動 ビジネス班との合流も可

日にち	ビジネス班（案）	教育班（案）
5/23(金)	ヘルシンキ周辺視察 （林業のデジタル化、産業創出、メタバース、 Maas、スマートシティ、エコシステムなど視察 図書館、CLT 工法など）	学校向けの自然プログラム見学など ユースセンターのような、若者の居場所の 在り方の見学など
	ヘルシンキ空港発	
5/24(土)	夕方 伊那市着	

4 公募人数 若干名

※ 市職員及び市議会議員、一般公募を含めた視察団を編成。

5 個人負担となる参加旅費の見込み（現時点） 一人 50～60 万円程度

往復の航空券、宿泊代、保険料、フィンランド国内の公共交通等における移動費用含みます。
現地での食事代等は、別途自己負担となります。

※なお、伊那市から羽田空港までの往復の貸し切りバス代、フィンランド国内の貸し切りバス代、通訳や視察に関する団体全体にかかる費用は、別途、伊那市が負担します。

※個人負担の支払いは、視察前に概算払いをしていただき、視察後に精算いたします。

6 応募条件

- ・伊那市に住所がある、または、仕事などで関わりがあること。
- ・視察訪問で知りたいことや学びたいことがあり、帰国後は、視察で得た知見を今後の活動に生かしていく意思があること。
- ・期間中の全行程で行動を共にし、行き帰りの飛行機も同じ便に搭乗できること。（航空券や宿泊等に関する手配を団体扱いとするため）
- ・有効期限が 2025 年 8 月末以降のパスポートを現時点で持っている、または 2025 年 3 月 25 日までにパスポートの取得が可能であること。
- ・視察関係者との事前打ち合わせ（オンライン含む）に参加できること。

7 応募受付期間

令和 7 年 3 月 4 日（火）から令和 7 年 3 月 18 日（火）まで（必着）

8 応募方法

応募用紙に記入のうえ、下記の書類を添付して伊那市役所地域創造課へ持参又は郵送してください。《提出書類》①応募用紙 ②パスポートの写し（所持している場合）

※提出書類は返却しません。応募に要する一切の費用は応募者負担となります。

9 選考方法

応募用紙により書類選考を行い、3 月 24 日（月）までを目途に、結果を連絡いたします。

10 その他

伊那市議会において、本案件に必要な予算が議決されなかった場合、募集及び視察を取り止めることがあります。あらかじめご了承ください。

11 応募・問い合わせ先

〒396-8617 長野県伊那市下新田 3050 番地

伊那市役所企画部地域創造課 担当：地域ブランド推進係 浦野、平川

電話 0265-78-4111（内線 2155） メール jkz@inacity.jp

令和7年度フィンランド視察 応募用紙

令和 年 月 日

フィンランド視察参加者募集要領を確認・承諾の上、応募します。

ふ り が な				顔写真 正面から撮影したもの
氏 名	(氏名は自筆で記載してください。)			
生 年 月 日	昭和・平成 年 月 日	性別	男・女・その他	
ふ り が な				
現 住 所	〒			
電 話 番 号		携帯電話番号		
E メールアドレス	情報や資料送付等に使用できるアドレスを記載してください。			
会 社 名 ※会社等で参加する 場 合 に 記 載				
所 属 部 署				
健 康 状 態	アレルギー、持病など健康上の特記すべき事項があればご記入ください。			
パスポートの有無	☐ あり 有効期間満了日 ()			
	☐ なし 申請予定日 ()			
1. 今回の視察で見たい内容				
2. 訪問したい場所 (具体的な行先や、〇〇ができる場所のような答えも可。可能な範囲でご記入ください)				
3. 上記1. 2の理由、訪問してやりたいこと及び聞きたいこと				

4. 帰国後、視察で得た知見等を生かして伊那市でやりたいこと

5. 自己PR、語学力など、その他伝えておきたいこと

6. 以下、現在挙がっているテーマと視察先の候補です。
関心のある順に()内に1～3まで数字をご記入ください。

() 教育：小学校・幼稚園で行われている自然の中での学び、教員養成

() 林業関係のビジネス創出

() 建築・木材活用

() 環境配慮及び環境にやさしい新素材

() 新技術の実用化

() メタバース・スマートシティ

() サウナ

() 食・食文化

() 大学間、企業間での共同研究 (分野：)

() その他 (内容：)